



札幌部会(第2回)

日時:	2012年2月4日(土)
場所:	キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55ビル)
参加者:	篠原(同志社大)、竹内 大輔、清水 顕史、兼間 昌智、吉川 敦巳、小林 幸平、濱地 秀行 山下 豊、志田 光瑞、則末 一大、佐藤 豊記、長崎 達、猪瀬 武則、金澤 敦、 櫻田 典子、松澤 剛 [順不同]

【内容要旨】

篠原代表の報告

- ・部会の運営方法について

参加者の自由な討論を原則とする

討議する内容

他地域の部会で取り上げられた教材、教育資料など

札幌部会参加者が持ち込む教材案、教育資料など

その他

- ・経済教育ネットワークの活動

最近の活動

(1)経済教育ネットワーク年次大会(2011年12月3日、同志社大学(京都市))

「法と経済の教え方」に関するシンポジウム

(2)ワークショップ福井(2011年12月8日、福井大学)

高等学校教員対象

野間敏克(ネットワーク理事)、篠原総一(ネットワーク理事長)が、「金融の教え方」、「(経済を通した)日本史の教え方」を提案した。

進行中の活動

(1)教員志望の大学生と公民を担当教員を対象にした「経済の教科書」作成

(2)先生のための「夏休み経済教室」のプログラム準備

2012年8月 東京、名古屋、大阪、広島で計10日間

- ・東京部会で討議した資料の紹介

(1)宮尾尊弘先生の書評(ホームページ「オープン討論室」に掲載)

(2)宮尾尊弘先生の大学入試(2012年度センター試験)の問題に関するコメント
(ホームページ「オープン討論室」に掲載)

討議

- ・篠原総一

公民、政治・経済、現代社会で教える内容は、次の二つに大別できること

(1)どの国の経済にも共通する「経済の仕組み」に関する理論

市場の働きと市場の失敗、家計・企業・政府の経済活動、財政と金融、貿易

(2)日本経済の課題整理と、制度と政策のあり方

中小企業、労働、消費者問題、社会保障、国際協調政策など

教科書を使って授業を進める上で留意すべきポイントを整理した



・猪瀬武則先生

- 中高で「効率と公正」を教える意義と教え方について、代表的な考え方の紹介された、
- 両者の問題提起を基にして、参加者の間で活発な討議をおこなった。

(文責：篠原総一)

次回開催予定:

5月19日(土) 14:30 ~16:30

会場(予定)北海道教育大学札幌駅前サテライト(SAPPORO55ビル)